

わが学び舎 松高小



八代市立松高小学校
学校だより
NO. 13
令和5年1月18日
文責 校長 入佐正夫

(始業式：校長の話 NO. 12より続き)



2つ目は、「当たり前のことを当たり前にしましよう」です。この1年間、何回も何回も「当たり前のことを当たり前にしましよう」と伝えてきました。学校生活のきまりや学習のルール、交通安全のルール、生活マナーを守る、時間を守る、チャイム着席をする、ろうかを走らない、トイレのスリッパをならべるなど、当たり前のことを当たり前にするようにと話をしてきました。学校全体としてずいぶんと「当たり前のことを当たり前にする」

ようになりつつあります。

しかし、何度言っても同じことを繰り返す人がいます。気づいていますか？おかしいこと、当たり前でないことをしている人の姿は必ずだれかがどこかで見ています。だれも良いと思っていない。

きまりやルールは、多くの人と一緒に生活する中で、安全に安心して生活できるためのものです。子どもだから許されることではありません。自分でおかしいことをしていると気づき、当たり前のことをするところ、これから大人になっていくみんなにとって必要な力です。それを、大人になって気づいても遅いのです。今、気づいて正しく成長してください。

そして、これからも学校は自分の家ではなく、みんなで生活する、みんなが利用する公共の場所という気持ちをもって生活して欲しいと思います。生活態度、学習態度が立派だなとみんなから思われる人がたくさん出てきて欲しいと思います。



3つ目は、自分のめあてをしっかりとって「自分をのばして欲しい」ということです。新しい年になり、気持ちを新たにがんばってみようという気持ちが生まれているのではないのでしょうか。人間の成長には、気持ちの切り換えや新しいことが始まる時に、いいスタートができることも大切なこととなります。そのためには、この1年間、自分自身のどこを、何を、どのように成長させたいのか、はっきりとした目標、具体的な目標を立てて努力して欲しいと思います。

そして、「心と体の成長」と「学習した力」をどんどん増やしていく1年間にしてください。

校長先生は、毎日授業や生活の様子を見る中で、頑張る人をこれからもしっかりと応援したいと思います。

4つ目は、「毎日の授業を大切にしたい」ということです。

勉強は、どうしてするのか。校長先生は、「将来、大人になるみんなが、一人の社会人として、自分の力で生きていくためには、多くのことを知っておかなければならないし、多くのことができるようになることが必要だからです。」と話をしてきました。

さて、今の学年でみんなは、多くのことを身につけることができましたでしょうか。「はい」と言える人は、この3学期も自分から進んで学習をしてください。また、「いいえ」と思っている人も、あきらめる必要はありません。分きたい気持ちがあるのならば、できなかったことや分からないことをそのままにせず、先生にどんどん尋ねて教えてもらって一つでも多く分かることを増やすことができます。授業で学び身につけた力は、なかなか目には見えませんが、それは一人一人の一生の宝物になります。学びの宝物をこつこつと増やしてください。



3学期は、この1年間の成長のまとめとなる学期になります。

6年生は、中学校進学への心構えと準備を行動と態度で示し、そして、1年生から5年生も次の学年へ進級する心構えと準備を行動と態度で見せて欲しいと思います。その準備と行動と態度が「当たり前のこと」を「当たり前にする」3学期になることを期待しています。